



国指定重要無形民俗文化財 小原神楽講

明治10年頃に旧築城町・岩戸見神社の宮司から伝授されました。主に地元の小原正八幡神社での春、秋の神幸祭で神楽を奉納しています。リズムカルな囃子と優雅で格式ある舞が特徴です。

御先

日本神話で代表的な「天孫降臨」の一場面。ニニギノミコトの一行が高天原(天界)から地上に向かう途中、道をふさぐ猿田彦と出会います。そこで一行の中の1人、天細女命と猿田彦が争いを始めます。やがてお互いの素性が分かり和解します。

地割

一年360日、春夏秋冬(東西南北)を守護しようと、刀を持った4方の神々が中央の土の神と争いを始めます。そこに仲裁役の風の神が現れて360日を均等に割って五神に配分。円満に舞静めるといった内容です。

地割

御先

国指定重要無形民俗文化財

2026年

豊前神楽

3月7日(土)

九州国立博物館1階
ミュージアムホール

1回目 12時30分

ぼんかぐら みさき

演目: 盆神楽(大村)・御先(小原)

2回目 14時00分

じわり みだれみさきかぐら

演目: 地割(小原)・乱駈仙神楽(大村)

国指定重要無形民俗文化財 大村神楽講

明治10年頃に大富神社宮司の清原家から氏子に伝授され、現在の神楽講が結成されました。隔年の1月1日に大富神社で湯立神楽を奉納しています。

盆神楽

別名「米神楽」とも言われ、扇の舞で四方の神々を礼拝したのち、タスキをもって同様に四方に礼拝。そして米を入れた盆を両手に持ち、曲芸的な舞いで、参拝者を楽しませます。盆神楽は米の豊作を祈願したり、感謝して舞う神楽です。

乱駈仙神楽

駈仙(御先)神楽と同じ舞が基本となりますが、鬼2人、幣方2人が舞う神楽で、鬼が赤ちゃんを抱いたり、子どもを追いかたりと場がにぎやかに盛り上がる演目です。



乱駈仙神楽



盆神楽

関連パネル展示

3月3日(火) - 3月7日(土)

物産展

3月7日(土)

ご利用案内

- 開館時間: 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)
金曜・土曜は20時まで開館(特別展期間中)
- 休館日: 月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)

福岡県太宰府市石坂4-7-2 [太宰府天満宮横]
TEL ハローダイヤル 050-5542-8600(午前9時～午後8時/年中無休)
詳細はホームページをご覧ください。

きゅーはく

検索